

令和6年度 ひまわり 4 組 Ⅰ 学期 学級経営反省

担任 和田 明日香

1. 学級経営目標 (学級通信: にじいろ)

「みんなちがってみんないい。みんなちがうからおもしろい。」



1人1人、いいところも得意なことも苦手なことも違います。自分と違うと戸惑うところもありますが、相手と向き合うことで、相手の良さに気付くことができます。自分の苦手なことは、得意な友達に手伝ってもらい、友達の苦手なことには自分が手伝ってあげられるよう、互いの違いを認め合い、助け合える学級を作っていきたいと思います。そして、笑顔があふれる学級作りを続けていきたいと思っています。

2. 特別支援教育目標

一人一人の子どもの実態を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、社会生活の中で心豊かに主体的に生きていこうとする子どもの育成に努める。

3. Ⅰ 学期学級経営反省

<目標>			<学級重点目標>
1 他者と関わり、自分のよさに気付くことができるようにする。 2 成功体験を積み、自信をもつことができるようにする。 3 多くに「気付き」「考え」「実行する」できるようにする。 4 自分のことは、自分でできるようにする。			1 自分のよさや課題に気付き、受け止める子どもを育てる。 2 学校生活に見通しをもち、行動できる子どもを育てる。 3 自分のことを、自分で解決する子どもを育てる。 4 保護者との連携を図り、個のニーズに応じた支援を行う。
学級経営の具体策	Ⅰ 豊かな心と健やかな体	1	気持ちのよいあいさつや返事、場に応じた言葉遣い、時間を意識した行動等、生活の仕方を身に付けられるようにする。
		2	・挨拶を自分から進んでできる児童が増えてきました。自分からするのが難しい子もいるので、引き続き声掛けをしたいと思います。 ・授業の中では、「〇〇してください」「〇〇ですか」といった先生への言葉の使い方も練習し、少しずつ使えることが増えてきました。 ・休み時間の過ごし方を確認し、2校時休みと昼休み以外の時間は授業の準備とトイレ・水飲み休憩の時間であることを確認しました。休み時間に自分のしたいことがある場合も、まずは、授業の準備を済ませてからというのを毎時間確認し取り組んでいます。少しずつ自分からできる児童も増えていきます。
		3	自分の気持ちを言葉で伝えたり、友達の話や気持ちをきちんと聞いたりできるようにし、誰にでも同じように優しい言葉遣いや行動がとれるようにする。
		4	・急に怒り出したり、泣き出したりすることがありますが、じっくり話を聞くと言葉にして伝えられることが増えてきました。「どうして今怒りなくなったの？教えて」という声掛けに言葉で伝えられたときに、すぐ解決できる成功体験を確実に増やせています。1人1人に合った、自分の気持ちを伝える方法や、気持ちを切り替える方法をこれからも一緒に考えて行きたいと思っています。
		5	学習や遊びの後の片付け、時間精一杯そうじに取り組めえるようにする。 ・まだ、声掛けは必要ですが、片付けに取り組むことができるようになってきました。自分たちで気付いて片付けたり、時間を考えて片付けに取り組んだりする練習にも取り組んで行きたいと思っています。 ・掃除はぞうきんがけを一生懸命取り組んでくれています。隅々まで掃除できるように声掛けしていきたいと思っています。



II 確かな学力と個性の伸長	4	楽しく給食を食べ、嫌いなものでも食べようと努力する態度や基本的なマナーを育てる。	
		毎週金曜日の支援給食では、6人で仲良く食事をしています。お皿を持って食べる児童を褒めると、他の児童も意識して取り組んでくれます。また、1年生が野菜を食べていると、3年生も野菜を残さずに食べられることが増えてきました。お互いに良い刺激を与えています。	
	5	不審者対応や交通安全への意識を高めることで、自分の命を守る意識をもって生活できるようにする。	
		安全教室や不審者対応訓練を通した学びを、日頃の生活の中でも繰り返し確認し、自分の命を守るのは自分自身であることが分かってきています。毎週ある容儀検査でも防犯ブザーの確認をしています。	
	1	一日の流れや学習の流れを確認し、見通しをもつことで、学ぶことへの意欲が持てるようにする。	
		週報や一日の流れの掲示、月行事の掲示をすることで、一日の流れをイメージしながら過ごしている児童が多いです。一日の中でも、個別に今後の流れを声掛けし、次の活動にスムーズに入れるように支援をしています。意欲的に次の授業に向かえないこともあるので、児童に合った方法を探っていきたいと思っています。	
	2	子どもの実態に応じた学習に取り組み、「できた」という達成感や学びの楽しさを実感できるようにする。	
		- 学習の取り組みには個人差がありますが、ノートに書く量や取り組む問題量を調整し、1人1人が「ここまでできた」という達成感を感じられるようにしています。必ず、できたところを褒め、次頑張るところの声掛けをしています。また、「4月の頃の自分と比べて、これができるようになってきているね。」と人と比べるのではなく、自分自身と比べられるようにしています。 - 複式の形での授業で、45分着席できるようになってきました。自分がすべきことが分かりコツコツと取り組める力が付いてきています。集中できないときには衝立を立て個人の集中できる空間を作っています。 - 平仮名を覚えてられてきています。(1年生) - 書き順に課題があります。独自の覚え方をしています。その都度声掛け続けていきます。 1日、1人1回は発表できています。6人と少ない人数ですが、積極的に手を挙げて発表してくれます。積極性が素晴らしいです。	
	3	話を聞く姿勢・書く姿勢・返事の仕方など基本的な学習のきまりを定着させる。	
		声掛けはしていますが、姿勢保持に課題があります。個別・全体での声掛けをしています。今は、授業に向かう気持ちの優先をしています。課題意識を持ってこれからも取り組んで行きます。	
	1	学校・家庭との連絡を取り合い、同じ言葉掛けや取組をすることで、相互の教育効果を高めるようにする。	
		いつもたくさんの御協力をいただきましてありがとうございます。連絡帳や週報を利用し、家庭との連携を行えています。また、場合によっては、担当者会や電話連絡を行うことでより細やかな情報共有を行えています。これからもよろしくお願い致します。	
	2	個別の指導計画を作成・更新することで、短期目標を意識しながら過ごすことができるようにする。	
		1人1人の個別の指導計画・教育支援計画を作成し、目標を意識しながら生活の支援を行えました。まだ、足りていない部分も多いので、計画や現状を見直ししながら必要な支援が行えるようにしていきます。	
	3	学校・家庭・地域のつながりに気付くことで、家庭や地域に感謝の気持ちをもつことができるようにする。	
		学校での生活ができていたり行事の参加等お家の方や地域の方の協力があることで行えていることを伝えています。いつもありがとうございます。しかし、地域が自分の身近に感じられてない児童もいるため、今後も声掛けをしていきます。	

○いつもたくさんの御協力ありがとうございます。2学期もよろしくお願い致します。